森町森林組合（もり）

三木の森林だより

2009年 冬号 vol.8

発行日 21. 1.10

三木の森林（みき もり） 境界を電子データ化

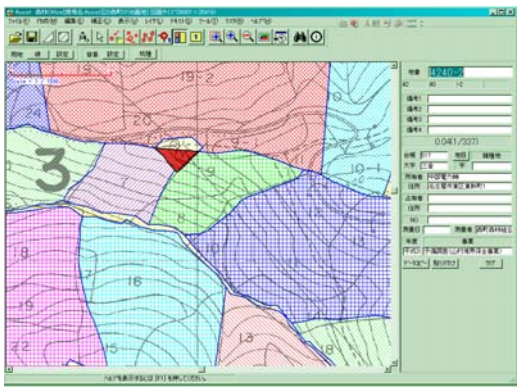
二年間で四百三十六町歩 山村境界保全事業

「自分の所有山林境が分からなくなる前に」から始まったこの事業。山林所有者様の現地立会いのもと、二年間で約四百三十六町歩もの三木の森林所有境を確定することが出来ました。該当者様にはご協力頂き有難うございます。

本事業は一筆ごと境界杭を設置し、GPSを用いて測量を行い、その結果を電子データ化します。これらのデータは地番を入力するだけで山林の場所や形を即座に探し出すことが可能です。杭の位置が分らなくなってもパソコンに情報があるので容易に復元することが可能です。

二十一年度は森町三倉西ヶ峰地区、約二百六十町歩三百二十二筆を実施していきますので、該当森林所有者様には現地立会い等、ご協力をお願いします。

鈴木啓史



電子データとしてパソコンに記録

新年挨拶会 平成二十一年一月五日 三倉総合センター

森町森林組合では新年挨拶会で新しい年がスタートします。挨拶会では、鈴木奉久組合長が『林業を取り巻く環境は大変厳しい状況が続くと思うが、明るい兆しもある。国産材需要が少しずつではあるが高まり、20%を越え始めている。昨年、購入した林業機械をフル活用してコストを下げながら木材を搬出することが課題である。また、森の力再生事業も積極的に取組み目標に向かって推進したい。』と年頭の挨拶をし、来賓で村松藤雄森町長が駆けつけ来賓祝辞を頂きました。

現地レポート 林べニヤ産業 視察 石川県

林べニア産業七尾工場(石川県)では、一日当り九百㎥、年間約二十二万㎥もの原木を消費しており一日当り三万枚もの合板を製造している。その中で国産材のシェアは六十%強で将来的にはシェア百%を目指す方針。合板は主にハウスメーカーに納められている。

原木の仕入れ価格(土場着)は、末口十八㎝上(四m)の場合スギ九千円・ヒノキ一万千円／㎥。合板用原木の規格は、小曲がりや黒芯・枝虫材などは問題なく、含水率は高い方が良いそうです。価格競争の中で山側が主導権を握ることが難しい近年の現状ですが、合板業者は原木単価を安くすることが利益を上げる一つの方法と考えているようでした。

しかし山側がコストを下げるだけでなく、安定した量の原木を提供しても、適正な価格を提示しなければ、林業の苦しい状況はなかなか打開できません。

林業と木材加工業が共存できるような価格体系が必要ではないかと思います。

職員 鈴木啓史

▲ 工場内見学

▲ オールヒノキ合板

昨年に当森林組合で樹齢百年を越える杉林を間伐させて頂いた現場を再び訪れた。そこで、昨年の広報誌コンクールの優秀賞で頂いたデジタルカメラで『パシャリ☆』なんと素晴らしい林になっていた。(写真右)先人が丹精こめて育ててきた苦労が伺える。いくら材木価格が安いからと山に手を入れない、今だけのことを考え後先のことは考えない、それだけでは先人が育て上げた山が可哀そうだと感じた。

【森町三倉 大日山にて撮影】 鈴木清之

謹賀新年

本年もよろしくお願い申し上げます。

平成二十一年元旦

森町森林組合役職員一同

代表理事組合長	鈴木	奉久
代表理事常務理事	藤川	英夫
理事	森下	英世
理事	富田	文雄
理事	甚沢	万之助
理事	高松	和宏
理事	船木	公雄
理事	大石	文六
代表監事	鈴木	国平
監事	栗田	勝助
監事	奥宮	光雄

総務主任	鈴木	孝義
販売・森林整備主任	鈴木	清之
指導・森林整備係	鈴木	啓史
指導・森林整備係	岡本	匡平
総務・販売係	富田	敏子
総務・森林整備係	加藤	美幸

～顔の見える家造りは実現するのか～④

ある秋晴れの中、加藤建築で実加工された三木の森林産の材木が建築現場に到着し、匠の技で手際よく建っていきます。「ホゾ穴をあけたり、欠き込みを入れるのは大工の腕の見せどころ。やっぱり手仕事が多い方が大工としてやりがいがある。」と棟梁は語る。

土台を敷き一階部分の柱を建て、貫を入れ二階管柱を手際よく建てる

正確に刻んだホゾ穴はきつく、揺らしながら、カケヤで叩いていかないと入らないという。入ってしまえばビクとも動かない。「柱を建てる時は必ず逆さ柱にならない様に建てる。最近では集成材が主流だが、木には元と裏があるんだ。昔の人は【木元竹裏】といって木は根元から薪割りし、逆に竹は裏（梢の方）から割るでしょ。例えば地震が起きて揺れた時、逆さ柱なら薪割り同様スパッと割れるでしょ。」と棟梁は語る。木の事を知り尽くしている大工こそ、安心な木の家が出来る。

建前のクライマックスの上棟は家の一番上の木【棟木】を取り付ける。数人の大工が集まりカケヤで同時に打ち下していく。打つ音はリズム良く五本のカケヤ音は一秒もずれることなく周囲に響き渡る。「大工をやっていて、この上棟が一番の喜びなんだよ。何日もかけて工場で一本づつ刻み、それが家として建つ。今までの苦労が吹き飛ぶ瞬間なんだよ。うちの若衆にもやらしてあげたい。喜びが無ければ仕事は面白くないらぁ」と後継者創りにも力が入る。

～上棟式～
今までの苦労が吹き飛ぶ瞬間

次回は『三木の森林だより春号』でお伝えしますので、ご期待下さい。

鈴木清之

購買情報

椎茸菌を打つシーズンが到来！

購買担当の加藤が自信を持ってお勧めするのが、森産業のにく丸（森２９０号）です。

にく丸
￥2，888円
1袋1000駒入
1袋で直径10cm･長さ90cmの原木で40本分打てます。

全国的に最も多く使用されている品種であり、乾・生両方で大活躍する品種で、発生は接種翌年の９～１１月にかけて大形でボリューム感のあるきのこが発生します。

【森産業株式会社ＨＰより】

おしらせ　従業員一同大変身

今月より森林組合では冬用の作業服を一新しました。ほとんどが山仕事のため誰にでも分かるよう目立つ色（目立ちすぎるくらいのオレンジ色）になりました。山で見かけたら是非、声をかけて下さい。

従業員一同

誕生　『基幹林業作業士』

昨年、静岡県山林協会が実施する養成研修が行われ、基幹林業作業士として認定されました。

「今回の研修に参加して、たくさんの資格や技術を習得することが出来ました。研修で習得した資格・技術を活かせるよう、安全で効率のよい作業を心掛けたいと思います。」

岡本匡平
（27歳）

取得資格
林業架線作業主任者・地山・土止支保・不整地運搬・はい作業・小型移動式クレーン・車両系・玉掛け・フォークリフト

✎ 編集後記 ✎

いかがでしたか「三木の森林だより冬号」は？　先日（十二月中旬頃）現場でなんとビックリ！蝮（マムシ）に出会いました。すかさず持ち合わせのペットボトルに捕獲しました。本来なら冬眠するはずの爬虫類が寒い冬にいるなんて地球温暖化を肌で感じました。

K・S

県森連 天竜営業所 市況

平成21年　1月　7日　現在(初市)

ひのき

長さ(m)	末口径(cm)	中値	1本当り単価	摘要
3.0	16～18	21,000円	1,827円	柱目4寸
	20～22	17,000円	2,244円	太角目
4.0	16～18	21,000円	2,436円	土台目4寸
	20～22	20,000円	3,520円	中目縁甲取
	24～28	23,000円	6,210円	中目
6.0	16～18	30,000円	5,820円	通し柱4寸
	20～22	28,000円	8,120円	通し柱太角

すぎ

長さ(m)	末口径(cm)	中値	1本当り単価	摘要
3.0	16～18	10,000円	870円	柱目4寸
	20～	12,500円	1,650円	中目
4.0	16～18	11,000円	1,276円	桁目4寸
	20～22	12,500円	2,200円	中目
	24～28	13,500円	3,645円	中目
6.0	16～18	14,000円	2,715円	通し柱
	20～22	14,000円	4,060円	通し柱

三木の森林（もり）だより

発行／森町森林組合
〒437－0208　静岡県周智郡森町三倉826－2
電話 0538－86－0211　ファックス 0538－86－0212
メールアドレス　jigyou@forest―morimachi.or.jp